



広報

ふだい

2016

3

No.646



思い巡らせキャンドル点灯

東日本大震災から5年目を迎えた3月11日、
普代駅前復興ふれあい広場では東日本大震災追悼
イベント「～鎮魂の灯り～^{あか}」が行われ、多くの来
場者がキャンドルに火を灯すなどして、犠牲者の
悼みに思いを巡らせていました。(関連記事8～
9頁)

今月の内容

震災5年企画「教訓が作る普代の未来」..... 2～9
4年間交通死亡事故ゼロ、長澤さんが厚生労働大臣表彰、教育振
興運動推進大会ほか村の話題 10～11

みんなのひろば、地域おこし協力隊通信 12～15
くらしの情報、カレンダー 16～19
ウォッチング 20

大震災から5年、あの日を忘れない…

教訓が作る普代の未来

平成23年3月11日の「東北地方太平洋沖地震」は、東北地方を中心とする広い範囲に被害をもたらしたことから「東日本大震災」と呼ばれるようになり、その震災は私たちの記憶から決して消し去ることのできない未曾有の大災害となりました。

そして平成28年3月11日で震災から5年を迎えました。普代村はあの日の出来事を取り越え、復興を成し遂げようとしています。あの日の悲劇の風化は年々進むことになると思います。

今月号ではあの日であったこととできた教訓を10人から聞きました。それを次世代へ伝え継ぎ、再び起こるであろう大津波に備えましょう。



過去の津波で犠牲になられた方々に祈りをささげます



3月3日、中央区の津波記念塔の前で過去の津波で犠牲になられた方々の冥福を祈る榎屋伸夫村長ら

○3月11日の初動

・14時

| | |
|-------|---------------------------------------------------------|
| 46分ごろ | 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生。村役場では震度5強を観測し、電気と電話、防災無線が停止 |
| 49分 | 気象庁が岩手、宮城、福島、青森、茨城、千葉の太平洋沿岸に大津波警報を発令 |
| 51分 | 久慈消防署普代分署員、駐在所長が村役場に到着。災害対策本部を設置 |

・15時

| | |
|-------|---------------------------------------------------|
| 00分ごろ | 村消防団がポンプ車で、分署員がタンク車で、それぞれサイレンを鳴らしながら1次避難を呼びかけ |
| 05分 | 震度4を観測 |
| 09分 | 震度5弱を観測 |
| 15分 | 釜石港で4分20秒の津波を観測。津波予想6分に変更 |
| 20分 | 普代水門の県道側の陸間が余震で負荷がかかり、緊急停止。25分に手動でリミッターを解除し、水門を閉鎖 |
| 27分 | 普代水門に津波第1波約20分が到達 |
| 30分 | 津波予想10分に変更。各1次避難所へ約400人が避難 |
| 34分 | 第2波普代水門到達、堀内に第1波到達 |
| 36分 | 第3波普代水門到達 |
| 40分 | 第4波普代水門到達 |

・16時

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|
| 00分 | 沢向地区は漁港水産倉庫付近まで浸水。1次避難場所から2次避難場所（自然休養村管理センター、堀内地区漁村センター）へ村バスと分署の指令車で避難者搬送（約120人） |
| 40分 | 防災無線が復旧 |

あの日にあったこと

平成23年3月11日に発生した地震による津波は、私たちの予想を超える大津波で、村では各漁港や普代浜などが大きな被害を受けました。

4-5泊では恐ろしい津波を見た人や避難した人たちの体験談を紹介いたします。

今一度、あの日の自分の行動を思い返すきっかけとなれば幸いです。



災害対策本部会議の様子



自然の力にただただ呆然



堀内漁港をのみ込む大津波



管理センターの避難所



元村地区を守った普代水門

船は流されながったが：



漁業者 合砂時雄さん

あの日は入院している父さんを見に、久慈病院さいつたつたなあ。病院についてすぐにあの揺れを感じ、「津波がくんなあ。太田名部につけてた船がやられる」と、父さんに会わないで普代さ走り出したよ。

急いで普代に帰り、「おらほうの船も流されてんべいな」と考えながら太田名部防波堤に上がったなあ。湾内を見下ろすと津波はきた後だったが、プカプカと浮いたよ。

「もつと早く情報をくれれば、違った考えをもつて動けたのにな」と思うことが多々あるねえ。

これからも関係者の皆さんには厚い支援と情報提供をいただきたいよ。

沖での2泊3日

漁業者 太田金夫さん



なかったね。

沖での生活は食料もあるし、暖もとれるので特に不便はなかったが、「家は無事か。車は無事か」と丘の様子が気にな

あの日は海上でかご上げをしていました。かごを上げ終えだき、船と積んだかごが変な揺れ方をして、最初はエンジンのトラブルを疑ったが、丘に目を向けると山から砂ほこりがたついで、地震を疑ったよ。その後、無線で「大津波が来るぞ」と情報が入って確信したね。

「海上で地震を感じたら、丘には戻らず沖に逃げる」と常日頃から考えてたので、あわをくうごどもなく、沖に逃げたよ。沖から丘を襲う津波をみていったが、とんでも

13日に一隻の船が港に帰るといふから自分も追つたよ。そしたら先に港に入った船が「金夫ちゃん。見ない方がいい」と引き返して来たつたなあ。「ここで引き返すわけにはいかない」と港に入ったが、まーとにかく悲惨だったねえ。

当時は「自分の船だけ残った」と負い目を感じることもあったが、それでも「役立ててほしい」という気持ちの方が強かったねえ。

余震におびえた避難所生活

避難所生活者 畠山幸恵さん



蒼奈ちゃん(左)は当時まだお腹の中にいました

「なにかあったんだ」と嫌な予感だったので動かないことを決めました。

その後、病院の先生の案内で、久慈東高校の体育館に避難しましたが、

あの日は私は、小学生の娘と妊婦健診に久慈に行きました。普代を2時ごろ出て、時間もあつたので、病院に行く前に本屋に立ち寄り、そこであの揺れを感じました。

翌日、沿岸部を避けたルートで普代に帰ってきて、そこで携帯電話で撮影した津波の写真や動画を見ましたが、何も言えませんでした。実際に津波を見た人たちのせつなさなどは計り知れません。

「ただ事じゃない」と思いながらも、健診を行おうと病院に向かいましたが、案の定診療は断られました。

普代に帰ることも考えましたが、その時、兄から「帰ってくるな」と一言メールが来た

久慈消防署 普代分署
副分署長 古馬丈裕さん



仮眠でしのいだ 激動の3日間

あの日は非番で実家のテレビアンテナの整備をしていました。整備を終え、始めてテレビをつけたときに見たのが「緊急地震速報」でした。

揺れを感じた時「これは津波が来る」と思い、自宅に戻って、家族に避難指示をしてから分署に向きました。分署で防災無線が鳴らないことなどを知り、「だめなら次、出来ることをやろう」という考えで、沿岸部に分署の活動車で避難広報をして回りました。

その後は災害対策本部の機能を回復し、運営することに専念しました。発災後、3日目で電気がとおり一段落。仮眠でしのいだ激動の3日間でした。

あの光景、音は忘れない

普代村漁業協同組合 太田則彦さん



発生せず、変わった様子はありませんでした。しばらく海を眺めていると「沖の防波堤が白くなつた」と思った瞬間に、

いき、第一波が押し寄せ、波が市場や漁業者の船のみ込んでいきました。

「これはとんでもない。次はもっと危ないだろう」と合祀神社に駆け上がり、その時

「あの揺れだ。津波は来るだろう」と思っていたので、防波堤に着いてすぐに「おい！早くあがれー！」と叫び、防波堤の外にいる人たちに声を掛けました。

そのころ、釜石港に4歳の津波が来たという情報が入りましたが、湾内を見下ろすと、津波はおろか、引き波なども

波が市場をのみ込み、船が沖に流されていく光景、車のクラクションや船のロープが切れる音は一生忘れることはないです。

あの日の教訓は今……

平成23年3月11日の大津波は、村に大きな爪痕を残すと同時に、大きな教訓も残して行きました。

当時の記憶があまりいな子どもたち、普代に着任していなかった先生たちに教訓はどのように受け継がれているのでしょうか？

6・7歳ではあの日にできた教訓がどのように受け継がれているか紹介します。



平成26年度村総合防災訓練



震災後、子ども園や小中学校の避難訓練、村総合防災訓練などで防災力の向上が一層図られています

地震への備えは出来てるよ

普代小学校3年 野田口太希くん



地震が来て、腰が悪いおばあちゃんも慌てて僕を担いで外に出してくれたってお姉ちゃんが言ってたよ。

その日は管理センターで一夜を過ごしたけど、次の日の夜にまた熱を出して、お母さんが久慈の病院に連れて行ってくれて、2日間入院したんだ。退院して帰ってくるとき変わって光景を見た僕は「なにこれ？」と言ってたら来て、そこで初めて津波が来たことを知ったんだ。

学校の先生からは地震があったら机の下に隠れる、揺れが収まったら近くの高い所に避難するって教わっているよ。もし家に一人にいる時に大きい地震がきたら北ノ股神社に避難するよ。

備えの大切さ学んだ

普代小学校6年 川向柚歌さん



感じると同時に、いつ発生するかわからない停電に備えることが大切だと思いました。当時はラジオで情報を得ることができましたが、普段ラジオを聞くことがない私は、使い方が全然わかりませんでした。テレビなどが見れないときのために、しっかりと使い方を覚えたいです。

震災の時、私は1年生でした。あの日は午前授業で、子ども園の近くで友だちと遊んでいました。14時46分、今まで感じたことのない、とても大きな揺れを感じました。建物のきしむ音などはすごかったですが、当時はあんな津波が来るとは思いもしなかったです。家は避難所より海から離れた場所にあつたので、津波の危険はありませんでしたが、停電で不便な生活を強いられました。電気のありがたみを

そのほか、新聞で情報は入ってきましたが、当時1年生だった私は漢字がわからず、読むことはできなかった。視覚からの情報しか入って来ませんでした。6年生になり、漢字もある程度読めるようになったので、また災害が発生したら新聞などを使った情報収集に努めたいです。

今後も避難訓練の徹底を

普代小学校 菅原俊博副校長



「帰り道で危ない状況もあった」と外館先生から聞いたので、それを教訓に、帰り道の指示などもできればと思います。

私が普代小に赴任したのは3年前。震災時の普代小の様子は当時の事を知る先生から教えていただきました。あの日は午前授業で、揺れがあったとき、児童は全員下校していたのですが、津波の危険があることから、職員も全員帰したと前教務主任の外館先生から聞きました。もし私の代で同じような状況を迎えた場合は、同じような対応をとります。しかし

学校での避難訓練も大事ですが、日々の生活で一番の間を占める、家庭での避難がとても大事だと思います。これからは家庭も巻き込めるような避難訓練を学校でも出来ればと思います。

あの日を胸に毎月訓練

はまゆり子ども園 長坂孝志園長



動けない状況だったそうです。

揺れが収まった後、園庭に避難するとすぐ役場の人たちが駆けつけ、社会体育館に誘導してくれました。

震災当時、私は久慈小学校に勤めていたので、当時の詳しい様子は分かりませんが、はまゆり子ども園はあの日、お昼寝が終わって、帰りの支度をしていた時の事だったと職員から聞きました。

震災前から毎月避難訓練を行っていたのですが、あの日の揺れは大人でも立って居るのがやっとの激しい揺れで、揺れが収まるまで、各クラスの状況を確認したくても

今でもあの日の教訓を胸に、毎月避難訓練を行い、当時の話をしています。その効果もあり、子どもたちも避難の仕方もしっかり身に付けていますので、いついかなる災害が発生しても対応できます。

久慈消防署 普代分署 消防士 久保 準さん



自分の命は自分で守るを念頭に

当時、私は普代分署勤務ではなかったですが、あの日は普代水門の陸閘が閉まらない、防災無線が鳴らないなどの不具合が発生したと聞きました。その経験を踏まえた動きを教訓にしています。

普代村は大きな水門と防潮堤が尊い人命と大事な財産を守ってくれましたが、ある意味ではそれが教訓になると思います。「普代水門があるから大丈夫」と安心しきらないで「自分の命は自分で守る」ということをいつまでも念頭に置いていただきたいです。

普代村だけでなく他市町村の震災当時があったことなどを学ぶことも教訓につながると思います。

ライオット風 「絆・3部作を合唱」



絆・3部作に復興への願いを込めます

バルーンリリースと同時に、コーラスライオット風の皆さんが、音楽家で東京都のサカモト・ミュージック・スクールの坂本博士校長が作詞した「絆・3部作」を合唱。被災した人を支え、励まそうと作詞した楽曲に復興への願いを込めました。

坂本校長は約50年前に創作ミュージカル取材のため普代を訪れ、それ以降、小学校統合記念事業や東日本大震災復興支援コンサートで来村しています。昨年12月には、芸術文化の振興に多大な貢献をしたとして「平成27年度文化庁長官賞」が贈られました。



東日本大震災追悼イベント

～キャンドルナイト「鎮魂の灯り」～

1「わー！きれいだねー」2小学生もガラス瓶に火を灯します 3「思いを胸に前へ～がんばろう普代～」キヤンドルアートのデザインは普代中学生が考えてくれました 4 司会の合図で一斉にバルーンリリース 5 黙とうで犠牲となられた方々の悼みに思いを巡らせます 6 点灯式開始前から多くの村民が集まり準備を始めます 7 宇佐元さんの声が天まで響きます

東日本大震災から5年を迎えた3月11日、追悼イベント「鎮魂の灯り」が普代駅前、復興ふれあい広場で行われ、多くの来場者が犠牲者の悼みに思いを巡らせ、教訓を再度胸に刻みました。

普代中生によるキヤンドルアートの紹介に続き、関係者らによる指名点灯が行われ、その後、来場者全員で追悼の思いを込め、バルーンリリースをしました。

さらに村観光大使宇佐元恭一氏によるミニライブも行われ、イベント会場は犠牲者への祈りに包まれました。

今回の追悼イベントは、三陸沿岸道路の村内分の建設整備を手掛ける各業者と、ガラス瓶回収にご協力いただいた村民の皆さまのおかげで、無事開催できました。

震災から5年。当時の体験をした人の「忘れない」という思いは続くと思いますが、それをどのように次世代に受け継いでいきますか？

震災の風化に対して強い危機感を持ち、いつまでも東日本大震災を忘れないようにしましょう。

県警が村に称賛状

4年間交通死亡事故ゼロ

村は2月4日で交通死亡事故ゼロ4年間を達成し、16日に岩手県警から称賛状が贈呈

され、久慈警察署の澤田徳伸署長が枉屋伸夫村長に称賛状を手渡しました。



澤田署長から称賛状をうける枉屋村長(左)

枉屋村長は「村での交通死亡事故ゼロ最長記録の7年2カ月に追い付き、追い越せるように称賛状を力とし、関係者皆さまとともに頑張ります」と決意を新たにしました。

村での交通死亡事故ゼロ最長記録は、昭和61年10月から平成5年12月までの約7年2カ月です。

暴力団排除を誓う より安全安心な普代村に



合意書に署名、捺印する枉屋村長と澤田署長

同日、村の行政事務から暴力団を排除する合意書の調印式も行われました。合意書の内容は、村の行政事務の相手方が暴力団関係者かを同署に照会したり、相互に情報交換を行ったりするなどです。澤田署長は「村民の皆さまの安全安心な生活が確保できるよう、暴力団の排除にバックアップできればと思います」と話していました。

教育振興運動推進大会 活動の方向性を探る

平成27年度教育振興運動推進大会(同推進委など主催)が2月14日、役場大会議室で開かれ、参加した児童生徒やその保護者、地域住民ら約100人が各種表彰などを通し、今後の活動の方向性などを探りました。

各実践班の報告では5つの実践班が今年度の読書活動や環境美化活動、世代間交流活動の成果や課題を発表し、県北教育事務所の則竹文仁社会教育主事からアドバイスを受け、さらなる運動の充実を誓

いました。

さらに元・盛岡市立中野小学校校長の野口晃男氏を講師に「子育て・孫育て・自分育ち」〜今こそ伝えよう日本人の心〜と題した講演会が行われました。

野口さんは自身の教員時代の体験を基に、子育てのヒントや役立つ言葉、具体的な例などを紹介し、参加者の皆さんは興味深く聞き入っていました。

教育振興運動は、家庭や地域の教育力の向上や教育環境の整備・充実に務めることを目的に行われている岩手県独自の運動です。



5つの実践班が活動報告をしました



子育てについて語る野口さん

旭日区の長澤エイさん 厚生労働大臣表彰に!



厚生労働大臣表彰を受賞した長澤エイさん

このほど、長年にわたる統計調査に従事した功績に対し、旭日区の長澤エイさん(68)に厚

虫歯ゼロで18人が表彰 健康な歯、いつまでも

平成27年度第3回保健推進員会議が2月19日、保健センターで行われ、同席上で「3歳児虫歯ゼロ」の子ども10人と70歳で自分の歯が20本以上ある「7020」達成者3人、80歳で自分の歯が20本以上ある「8020」達成者5人の表彰が行われました。

藤原所長は「私が村に来たころは、3歳児の8割以上が虫歯でしたが、いまは逆転してきています。3歳児の皆さま

表彰された皆さんは次のとおりです。

◆3歳児虫歯ゼロ表彰▽武田優翔▽石花心優▽大村愛母▽紀室利成▽赤坂音和▽高橋虎羽▽前川響良▽鎌倉煌翔▽中居凜▽島山紫月

◆7020達成者▽長澤

教振運動推進委表彰者の紹介 みんなの頑張りは、村の活力 おめでとうございます。さらなる活躍を!



3団体、15個人が表彰されました

- ◆普代小学校▽藤島遼(1年) ▽第28回琥珀絵画展琥珀賞▽野田口礼茄(5年) ▽JA共済児童生徒作品コンクール作文の部金賞▽坂本玲奈(2年) ▽第40回全国児童生徒木工工作コンクール岩手県大会優秀賞、第7回久慈地方木工工作コンクール最優秀賞▽野田口太希(3年) ▽同コンクール最優秀賞▽澤口亞海(4年) ▽同コンクール最優秀賞▽及川翔(6年) ▽同コンクール最優秀賞▽大村蓮(同) ▽平成27年度第10回久慈市陸上記録会6年男子200メートル第1位▽太田我空(5年) ▽同大会5年男子走り高跳び第1位▽森田叶聖(同) ▽同大会5年男子ソフトボール投げ第1位
- ◆普代中学校▽太田綾音(3年) ▽中学生の「税についての作文」コンクール久慈税務署長賞▽道下瑞葵(3年) ▽同コンクール久慈地区納税貯蓄組合連合会長賞▽榎谷美麗(2年) ▽全国中学生人権作文コンテスト岩手県大会奨励賞▽バドミントン部(代表)

生労働大臣表彰が贈られました。

長澤さんは39年間の長きにわたり統計調査員を務め、その間、国勢調査に9回連続従事するなど地域の状況を的確に把握し、精度の高い統計業務を遂行してきました。

長澤さんは「大変なこともありましたが、調査に協力いただけた皆さんや村長さんを始めとした職員の皆さまのおかげで頑張ってくれました。これからも元気で続けていきます」と話していました。

信明▽金子泰子▽藤島拓朗

◆8020達成者▽山下キヌ▽熊谷利榮▽米田實▽道下勇▽中新屋清

(敬称略)



3歳児虫歯ゼロ表彰を受けた子どもたち

- 森田樹(たつき) ▽久慈地区中学校総合体育大会団体戦優勝及び同新人大会団体戦優勝及び岩手県新人大会団体戦第3位▽山本寛人(3年) ▽久慈地区中学校総合体育大会バドミントン競技個人戦(ダブルス)優勝▽及川仁(2年) ▽同大会バドミントン競技個人戦(ダブルス)優勝▽久慈地区中学校新人大会バドミントン競技個人戦(シングル)優勝▽中花優花(3年) ▽久慈地区中学校総合体育大会剣道競技女子個人の部優勝及び第26回久慈地区少年ふれあい柔道・剣道大会剣道中学生女子個人の部優勝▽砂子真生(2年) ▽岩手県新人大会陸上競技共通女子砲丸投第3位▽赤坂誉基(1年) ▽久慈地区陸上競技大会1年100メートル第1位
 - ◆優良活動団体▽普代オアシヤンズ(代表・古馬理貴) ▽高円宮賜杯第35回全日本学童軟式野球大会下閉伊北部予選優勝及び第29回岩手県学童軟式野球選手権大会下閉伊北部予選優勝及び第37回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会下閉伊北部予選優勝
- (敬称略)

おとうさん
おかあさん
あのね... 346



けんゆうくん(左)とさなちゃん
(はまゆり子ども園さくら組)

さかもとけんゆうくん(坂本健雄・6歳)
から母・睦子さんへ

ママはおそうじしたり、おりょうりしたり、おしごとをしたりいそがしいよ。はたらいておかねをもってきてくれるから、むだづかいしないね。だからけんゆうをおこらないでね!

ママはぱんとちよこがすきだから、おおきくなったらかってあげる。それから、あかいふくがないみたいだからかってあげたいな!

かねこさなちゃん(金子咲菜・6歳)
から父・太一さん、母・佳子さんへ

おうちでいちばんはやおきのぱぱ。おしごとがあめだとできないからといつもてんきよほうをみているよ。おさしみをつくるのがじょうずなの!

おかあさんは、やさしくてにこにこしててすき。いぬのじゃくとおさんぼするのがたのしいよね。

えほんをたくさんよんでくれるぱぱとおかあさん。またいつかせんだいのどうぶつえんにつれていってね!



大上食堂

「健康維持し、楽しんで続けます」



全国各地の皆さんからの言葉を胸に経営を続けています



人気メニューの磯ラーメン

大上食堂は大上澄子さんが営むお食事処。東日本大震災の大津波で以前の店舗が被災し、現在の仮設店舗で経営をしています。
震災当時、店内で大きな揺れを感じた大上さんは慌てて店を飛び出したといいます。こじくなった父親から「大きな揺れを感じたら何も持たず

とにかく逃げろ」と教わってました」と大上さん。
水門の中に逃げ込むと、昭和の津波を体験した人に「あと30分は来ないが、車に乗って逃げんべ」と言われ、水門の外に停めてあった車で避難したそうです。「お年寄りの言うことは間違いないですよ」と大上さん。
避難後、「店が流された」といううわさが入ってきたそうですが、絶対に見に行かなかったそうです。「見るのも聞くのも嫌でした。怖くて怖くて...」と声を震わせます。
一時は店を閉めようと考えたそうですが、「すみちゃんラーメンがまた食べたい」と

という声を聞き、旦那さんの後押しなどもあり、仮設店舗での再開に踏み切りました。
大上さんは「支援をいただいた全国の皆さんのおかげで、健康を維持しながら楽しく経営を続けていきますよ」と笑顔を見せていました。



久慈市出身の本波敬太さん。漁師になりたいと昨年11月に村の定置網「からし網」に入り、今年2月には堀内に移住。漁師を目指し、腰を据えました。
本波さんは昨年の3月から北海道の力二船に乗り、忙しい日々を送っていました。夏ごろに妻・恭子さんの妊娠が発覚し、本波さんの職探しが始まりました。
「なつこを産み育てるなら、地元に戻りたい。そして船に乗りたい」と職探しに明け暮れる日々が続いたある日、普

代の知人から「普代の網さかだつて」とからはし網を紹介してもらい、普代で漁師になることを決めました。
初めての網起しの感想を聞くと「朝早いのは慣れていましたが寒かったです。ただあの景色は最高だったな」と振り返っていました。
昨年12月には長女の心華ちゃんが誕生。「今月の中旬からは養殖ワカメ漁にも出ています。家族のため、ますます頑張りますよ」と気合十分でした。
そんな本波さんは最近、沖

での釣りにハマっています。です。「魚を釣ってきて家で食べる」と「食費が浮く」とウチの人も喜んでくれるんですよ(笑)」と話し、続けて「心華が大きくなったら、家族みんなで海に遊びに行きたいですね」と未来像を語ってくれました。
..... Q & A
- 休みの日は。 沖で釣りをしています。 - 時間とお金があったらしてみたいことは。 船を買ってアワビ漁などにしたいです。 - 村へ一言。 コンビニ子どもが遊べる公園が欲しいです。

「漁師、始めました」

MY FRIEND Vol.93

友達の友達は...みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は堀内の本波敬太さん(25)です。



長女の心華ちゃんと一緒に笑顔の敬太さん

◆小学生向け
『まんがで読む枕草子』
中島 和歌子 監修
教科書でよく知られている枕草子をまんが化。宮中で清少納言の生活や平安時代の貴族の暮らしを知ることができる一冊です。
学研教育出版

◆一般向け
『世界の果てのこどもたち』
中脇 初枝
何人なのかも知らない幼い3人は、あることをきっかけに友情で結ばれる。しかし終戦が訪れ、3人は別々の人生を歩むことになった。
講談社

◆幼児向け
『がっこういこうぜ!』
もとした いづみ
学校をずる休みしている、けんごのところへ、せいぎが迎えにきたが、けんごは「妖怪のせいで行けない」と言い出して...
岩崎書店

本はともだち

図書館へ行こう!

★開室時間:午前9時~午後5時
★休室日:毎週月曜日
★電話・ファックス:3611044

広報クイズ

次の2つの問題を読み、3つの答えの中から正しいものを選び、はがきで応募してください。①は3から、②は4からの出題です。

①平成23年3月11日の大きな地震は14時何分に発生したでしょう？

- A 26分
- B 36分
- C 46分

②太田金夫さんは沖で何日間過ごしたでしょう？

- A 2日間
- B 3日間
- C 4日間

【応募方法】

はがきに答え、郵便番号、住所（地区名）、氏名、年齢、性別、世帯主の名前、電話番号を書いて応募してください。正解者の中から抽選で3人に図書カードをプレゼントします。

はがきに広報ふだいの感想、ご意見、イラストなど書いてください。紙上で紹介します。お待ちしております。※平成28年4月から当選者が5人から3人になります。

☎あて先…〒028-8392

普代村9-13-2

普代村役場 広報クイズ係

☎締め切り…4月7日(月) 当日消印有効

☎2月号の答え…①-B ②-C

☎応募総数…3通で3人が正解でした。次の3人に図書カードをお送りします。おめでとうございます。

☎当選者…①畠山雄介くん(黒崎・7歳) ②滝澤啓光くん(久慈市・4歳) ③滝澤光来ちゃん(久慈市・7歳)

みんなのイラスト展



元気いっぱい！殻を破って登場だ！①

滝澤啓光くん
(久慈市・4歳)



ひな祭りの絵上手に描けたね！②

畠山雄介くん
(黒崎・7歳)



お魚いっぱい描けたね！③

滝澤光来ちゃん
(久慈市・7歳)



このほどラッピングが完了した周遊観光バス

このほど、4月から運行する「地域資源発掘周遊観光バス」のラッピングが完了しました。ラッピングのほか、車内に観光情報を発信する音声ガイドなどが設置されています。運行は4月からで、通年の土日祝日に運行を予定。乗車運賃は村営バスと同じく無料です。ぜひ一度乗車し、地域資源を発掘してみてください。

ラッピングバスが完成！ 観光情報に乗せて走ります

このほど、4月から運行する「地域資源発掘周遊観光バス」

スのラッピングが完了しました。ラッピングのほか、車内に観光情報を発信する音声ガイドなどが設置されています。

地域おこし協力隊通信 No.11 鵜鳥神楽の巡行終了



鬼東隊員

鵜鳥神楽は3月6日、鵜鳥神社で神上を行い、平成28年の南回り巡行を終えました。1月11日の舞立ちは所用で見れませんでした。太田名部、普代小、釜石市箱崎白浜、黒崎、堀内と計5カ所で神楽を見られ、人生初めての神楽鑑賞だったので感動しました。私は舞の得手、不得手はわかりませんが、神楽衆の神楽に対する姿勢と思いの強さが、観客である私を奮わせてくれました。



堀内地区での巡行の様子

箱崎白浜では、村外の方の鵜鳥神社に対する信仰の強さを見られました。普代と同じ漁業地区だけに、海上安全や大漁祈願を卯子西様に託しているのでしょうか。

震災の爪痕が残っている今でも、神楽宿を守っている姿を見ると、心底鵜鳥神楽が好きなんだなと感じました。堀内は神楽衆の皆さんも自画自賛するほどの巡行でした。会場のお客さん、そして神楽衆。会場一体となった鵜鳥神楽が見れて、お客さんあつての鵜鳥神楽と学ばせていただきました。



勇壮な舞に拍手を送る堀内地区の皆さん

宮城建設、村漁協 新港に防犯灯4基を設置



新港に4基の防犯灯が設置されています

このほど宮城建設と村漁協がソーラー式の防犯灯を2基ずつ、計4基を太田名部新港に設置しました。以前から要望していたもので昨年10月に実現しました。

宮城建設の本波優さんは「自分たちも作業していて『暗いなー』と覚えることがあったので、漁業者の皆さんはもっと大変だろうなと思っていました。漁業者の皆さんの力になれば幸いです」と話していました。

漁業者の皆さんは「明かりがまったくなかったのがありがたいよ」「浜仕事が進みますよ」と感謝する一方で、「もう少し明かりが欲しいなー(笑)」と話していました。

宮崎では、物心ついた時から神楽の音色が身に染みつく環境で育ちましたが、その音色が神楽だと気付いたのは成人後。神楽の存在を知りながら触れる機会はありませんでしたが、役場OBで元広報担当の釜谷さんから鵜鳥神社と宮崎神宮の共通点を教えていただきました。鵜草草不命(うがくさくさのみこと)という神様を祭っており、この神様を祭っている神社は全国でも珍しいそうです。変わり者同士の気が合うかもしれません。次回参拝時に話しかけてみたいと思います。

ブルズの試合に花添える Shinys、市民体で大躍動



ブルズの試合に花を添える Shinys

プロバスケットボールリーグ岩手ビッグブルズ対仙台台89 ERSの試合が3月5日、久慈市民体育館で行われ、ハイ

キッズチアチームです。ました」と笑顔を見せました。Shinysははまゆりスポーツクラブから発足した村の

フタイムで村のチアダンスチーム「Shinys」がダンスを披露し、試合に花を添えました。同チーム指導者の小深田夏海さんは「会場から拍手をいただいた子、子どもたちの緊張がほぐれ最高のパフォーマンスができた」と笑顔を見せました。

義援金、支援金
(2月1日～2月29日分、敬称略)
▶イトウイサオ 5,000円 ▶モクザイ
リヨウポイント 979円

これまでの合計額 **64,929,387円**

※義援金、支援金は復興支援事業などに活用されています。

ふるさと応援寄付金
(2月1日～2月29日分、13人)

これまでの合計額 **17,145,283円**

戸籍の窓

2月分(敬称略・順不同)

お誕生おめでとう (0人)

ご結婚おめでとう (0組)

お悔やみ申し上げます (3人)

太田 和弘 太田名部 60歳
柴内つた子 旭 日 区 58歳
長根陸奥子 黒 崎 83歳

交通安全 対策情報

- 村内の交通事故《2月》
人身事故 0件(0件)
物損事故 2件(6件)
※()内は1月からの累計
- 救急車の出動件数《2月》14件
- 飲酒運転検挙状況(県交通安全対策協議会調べ)
県内33市町村中ワースト順位…**10位**
(平成28年1月31日現在)
村内の検挙者数《1月》0人(0人)
県内の検挙者数《1月》19人(19人)
※()内は1月からの累計

くらしの情報

ご存じ
ですか？

4/1、土地家屋の無料相談

岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部では4月1日「表示登記の日」を記念して次のとおり土地家屋についての無料相談会を開きます。

▶日時…4月1日(金) 10:00～15:00

▶場所…久慈市文化会館

▶相談内容…土地の分筆・合筆・地目変更・地債更正登記、建物の新築・増築・滅失登記、土地・建物の調査測量、境界問題

▶問い合わせ先…岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部久慈地区事務局(☎0194-52-3730)

広報送料をお願いします！

平成28年4月から翌年3月までの1年間、引き続き「広報ふだい」の送付を希望する人は、1年分の送料を次のとおり現金または小為替などで送付するか、直接お持ちください。すでに送料を納めている人、ふるさと普代会員の方は除きます。

▶送料…①ヤマト便 1,560円(130円×12カ月) ②郵便 1,680円(140円×12カ月)

▶送付先…〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村9-13-2 普代村役場 総務課広聴広報係

お問い合わせは役場総務課広報係(☎35-2111 内線116)まで。

国家公務員の採用試験

人事院では、平成28年度国家公務員の採用試験を次の表のとおり行います。

| 試験名 | 受付期間 | 第1次試験日 |
|----------------------|-----------------|---------|
| ①総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験) | 4/1(金)～4/11(月) | 5/22(日) |
| ②一般職試験(大卒程度試験) | 4/8(金)～4/20(水) | 6/12(日) |
| ③一般職試験(高卒者試験) | 6/20(月)～6/29(水) | 9/4(日) |

※上記受付期間はインターネットでの受付で、開始時間は9:00からです。

申し込み方法や受験資格など、詳しくは人事院ホームページ(<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)または人事院東北事務局第二課試験係(☎022-221-2022)まで。

小～高校生の医療費を助成

村では、小学生から高校生までの医療費を次のとおり全額助成します。

▶助成期間…就学時から18歳に達した年度の3月31日まで

▶対象医療機関…保健医療機関と保険薬局

▶申請に必要なもの…医療費給付申請書、医療費の領収書、印鑑、健康保険証

申請は1カ月ごとをお願いします。学校管理下の負傷・疾病で日本スポーツ振興センター法の給付を受ける場合、そちらが優先されます。お問い合わせなどは役場住民福祉課(☎35-2113)まで。

歯のテレホン相談を実施

岩手県保険医協会歯科部会では4月18日の「ヨイ歯の日」を記念して、次のとおりヨイ歯デーテレホン相談を実施します。歯もしくは口腔に関する悩みについてなんでもお答えしますのでお気軽にお電話ください。相談料は無料です。

▶日時…4月18日(月)

▶受付時間…10:00～19:00 ※受付時間に相談を受け付けた後、歯科医師より19:00以降に折り返し、回答のお電話をします。

お電話は岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係(☎019-651-7341)。

スプレー缶などの穴開けは安全に！

家庭ごみの仕分けにおけるスプレー缶などの穴あけの際に、各地で火災や爆発事故が発生しています。

事故を未然に防ぐために次の事に注意して安全に作業を行ってください。

1. 風通しが良い屋外で行うこと
2. 火の気の無い場所で行うこと
3. 安全に中身(ガス)を出し切ってから行うこと
4. 一度に大量の穴開け作業を行わないこと

国税専門官の採用試験

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を次のとおり募集しています。

▶受験資格…①昭和61年4月2日から平成7年4月1日に生まれた人②平成7年4月2日以降生まれの人で次に掲げる人(1)大学を卒業した人及び平成29年3月までに大学を卒業する見込みの人(2)人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認める人

▶受験申込受付期間…①インターネット：平成28年4月1日(金)から4月13日(水)まで②郵送または持参：平成28年4月1日(金)から4月4日(月)まで

▶第1次試験日…平成28年5月29日(日)

試験に関するお問い合わせなどは仙台国税局人事第二課試験研修係(☎022-263-1111 内線3236)まで。

満期を過ぎた郵便貯金は？

郵政民営化(平成19年10月1日)より前に、郵便局にお預けいただいた定額及び定期郵便貯金は、法律の規定により、満期後20年2カ月たつとお客さまの権利が消滅し、払い戻しが受けられなくなります。払い戻しのお手続きは、最寄りの郵便局やゆうちょ銀行でお早めをお願いいたします。併せて簡易生命保険の満期日もお確かめください。

詳しくは、独立行政法人 郵便貯金・簡易生命保険管理機構(☎03-5472-7101)まで。

定期無料相談

6件とも事前に予約が必要です

困っていたら相談を！

久慈地区法律相談

▶期日…4月13日、27日(水)▶時間…10:30～15:30▶場所…久慈市役所▶問い合わせ先…久慈市役所生活環境課(☎0194-52-2111)

多重債務者相談

▶期日…4月28日(木)▶時間…9:00～15:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター(☎0194-54-8004)

くらしとお金の安心相談会

▶日時…4月20日(水) 10:00～16:00▶場所…久慈市・久慈広域消費生活センター▶問い合わせ先…同センター(☎0194-54-8004)

久慈保健所での相談

エイズ・肝炎ウイルス・性器クラミジア検査、骨髄バンク登録

▶日時…4月12日(火) ①エイズ・肝炎・性器検査：15:00～18:00 ②骨髄バンク登録(要予約)：15:00～18:00

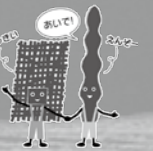
精神保健福祉相談

▶日時…4月15日(金) 13:30～(要予約)

ひきこもり相談

▶日時…4月18日(月) 14:00～15:30
3件とも、問い合わせ先は久慈保健所保健課(☎0194-53-4987)

村からのお知らせなどはこのコーナーで行います。皆さんからの情報もお待ちしています。総務課広聴広報係(☎35-2111)



4/17(日) 特選海鮮寿司
※要予約 締切4/15 **1,000円(税込)**
歓送迎会承ります
3,000円(税込)コース! ※飲み物別
(すし、オードブル、汁物) ※3日前までにご予約下さい
まんちゃん寿司 ☎35-2290

5/18 オリックス VS 楽天
プロ野球パ・リーグ公式戦
普代の星! 銀次を応援しよう!!
チケットの購入を希望する人は
銀次後援会にご連絡ください!
会長: 嘉藤明男 事務局: 前川(☎090-2144-8610)

畳工事一式、内装工事、ふすま・障子・屏風張替
沢口畳店
普代村13-12-8 TEL・FAX 35-2561

～宿泊・宴会・仕出し 承ります～
北三陸 ふだい 国民宿舎くろさき荘
〒028-8351
岩手県下閉伊郡普代村第2地割字下村84番地4
TEL 35-2611
FAX 35-2872

鵜鳥神楽の黒崎地区での巡行が2月20日、黒崎公民館で行われ地区住民らのほか、JTBツアー客や観光客など約150人が勇壮な舞を鑑賞しました。ツアー客ら一行は神楽衆の13時の舞い込みに合わせ同公民館を訪問し、「清祓い」や「日本武」など、全9演目の勇壮な舞を堪能しました。演目「恵比寿舞」ではタイを釣る場面でのユーモアあるツアー客との掛け合いが会場の笑いを誘っていました。翌日ツアー客は、鵜鳥神社や普代水門を見学し村の歴史や文化に触れました。



人気演目「山の神」



恵比寿様と来場客のユーモアある掛け合いが会場の笑いを誘っていました



「日本武」では八岐大蛇が登場



小学生神楽衆も「勢剣」を懸命に披露



「清祓い」で場を清めます



「ショシャ舞」で次の巡行へと舞い立ちます

人口と世帯 2月末現在

| | 前月比 | 前年比 |
|-----|-------------|-------|
| 人口 | 2,860人 (+2) | (-47) |
| (男) | 1,386人 (+1) | (-20) |
| (女) | 1,472人 (+1) | (-27) |
| 世帯 | 1,155戸 (+1) | (+18) |

▼東日本大震災から5年がたちました。震災を体験した人たちは当時の事を忘れることなく「こおすればよかった」などという教訓もしっかり残っているようでした▼これから生まれる子、震災後に生まれた子は震災の事は全く知りません。教訓などを100%語り継ぐということとは難しいですが、最低でも「自分の命を自分で守るための行動」を語り継いでいきましょう。今月号の広報誌が、家庭でそのようなことを話し合う一つのきっかけとなってくると幸いです▼平成27年度も取材にご協力いただけたたくさんの方の皆さまのおかげで、12回広報誌を発行できました。ありがとうございます。4月からも広報くださいと下道をよろしく願います。

(下道 聖)

ホッと一息